

「あそぼ」自己評価表(1/3)

記入日:2025. 3. 23

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			室外に卓球可能スペース確保、又、庭にはプランコ・ハウススペースをつくっている。規定以上の空間を十分に確保している。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	○			資格者を配置しているとともに、勉強会を開催し、全体の専門性の向上を図っている。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		できる限り行っている(エレベーターはないが、手すりの設置は行っている。)
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に話し合いの場を設けている。短時間勤務の職員には、記録を見て、意見をもらうようにしている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者委員会はない。当面設置予定はない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			昨年度以上に、社外の研修に積極的に参加してきた。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			LINEで繋がっていることで、利用日以外であっても相談を受けることができるようにしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			責任者中心に各担当職員と話し合いをして決定している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			集団活動プログラムにおいては定期的に状況をチェックし、変更・対応している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期休み・祝日イベントでは細案を用意することで支援がいきとどくようにしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			各児童を療育面により、個別活動と集団活動の特徴を生かしより効果的に実施している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		報告書と申し送りノートを活用することで、短時間勤務や欠勤だった職員とも共有できるようにしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			実績記録表にて状況を確認し改善につなげている。
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				

「あそぼ」自己評価表(2/3)

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者は、必ず参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			今年度は、全ての小学校・支援学校に赴き、連携会議を行った。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		公園などで出会って一緒に触れ合うことはある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在は参加していないが、今後は参加予定。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			都度連絡と課題に対する進捗状況を共有して、今後の対応につなげている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		相談を受けたり、場合によっては家庭訪問をしたりして対応をしているが、十分ではない。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。また、追加の内容がある場合は、その都度連絡をするようにしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			LINEや電話でも相談に応じている。そして、必要に応じて児童支援計画に盛り込んでいる。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の中で希望が増えれば、行っていく予定。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉞	定期的に活動概要や行事予定等の情報を、子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			職員には徹底するように指導している。又、都度事例をもとに教育もしている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			LINEで繋がり、開所時間外であっても、相談に乗れるようにしている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染症も収まってきたので、少しずつ広げていくことを検討している。

「あそぼ」自己評価表(3/3)

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			岡山県社会福祉会主催の動画研修を行った。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		該当者なし
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			該当者には、保護者と相談して対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
			31	8	4	